

号外

松前町  
議会だより

調査特別委員会  
ニュース No.2

(10/1 発行)

JR 北伊予駅自由通路  
及び  
周辺整備事業

北伊予駅自由通路(高架橋)調査進む  
結果は?一般町民向けアンケート、小委員会

去る8月25日、第4回の調査特別委員会を開催した。発足から1か月間の活動内容を各担当者から報告を受け、今後の方向性についてさらに議論をした。

アンケート調査も北伊予校区だけでなく全校区に拡げた。さらに委員による任意の聞き取り調査の報告などもあった。

町長への聞き取り

問 自由通路という発想は、いつからか。費用対効果から北側への移動は考えなかったか。今後については。

答 地元要望もあるが町内全体の活性化につながる取組みだと考えたからだ。JR側も駅や広場を自由に使うので道と言っている。道の駅などの活用もできる。北伊予地区の活性化

また、町長にこれまでの経緯や自身の考えなどを聞いた。ただ進めてきた調査から行政と各団体との協議における内容に議会側との認識の差異があると判断し、小委員会で調査することになった。

化にもつなげたい。自由通路の北側への移動は検討したが交渉の中で東西の降りる場所の問題で無理のようだ。

特別委員会での方向性が出ればJR側と交渉していく。できれば平成27年の早い時期に行いたい。

小委員会の結果報告より

◎まちづくり課に聞く

高架橋計画時の担当職員が会議に来ていないため経過の正確な内容が聞けなかった。

問 当初、平成20年1月はJRと県が計画していたが(下図)、平成24年に現在の新しい計画に変更になった理由は。

回答なし。  
議事録公表なし。

(要望地域との聞き取り調査を試みたがかなわかった。)

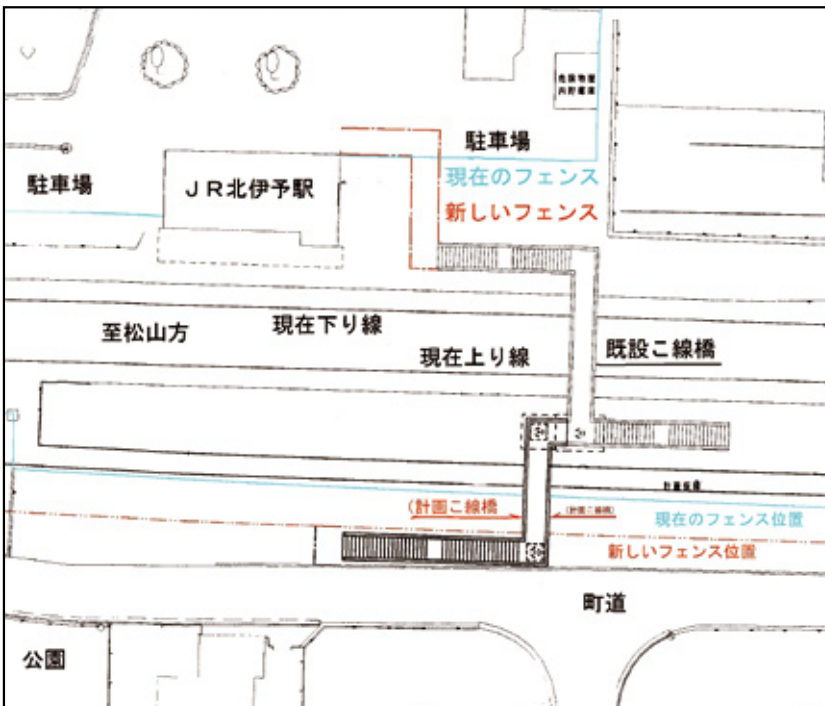
問 誰が造る起案を行い判断をしたのか。

回答なし。

事前に県に問い合わせたところ「県は元の計画に戻れる」との回答あり。

答 左図の継足工法はデメリットが多いので行なわない。(町)

直接関係する事業は県の全額負担で実施するが、北伊予駅高架橋は県の直轄事業の対象外となったため、町がお金を出し県の補助金で実施する事業となっている。



平成20年1月 県の計画図

# ★アンケートの結果ができました★

## アンケートの目的

町ではJ R車両基地移転に伴う周辺整備事業として地域要望のもと各種事業に取り組んでいます。しかし、北伊予駅自由通路の新設事業(6月議会で関係予算削除)については多額の費用が見込まれ、総額4億400万円となり、国、県の補助金を引いても町の費用負担が1億円を超えるものとなります。

そのため、議会として適正に判断するため皆様の意見をお伺いしたくアンケートの協力をお願いしました。

## アンケートを通して

校区外の人で、Q1は答えにくいとの意見が多く、また、議会への厳しいご意見も多々あり、真摯に受け止め、納得できる方向性を出すことの責任は重大であると感じました。

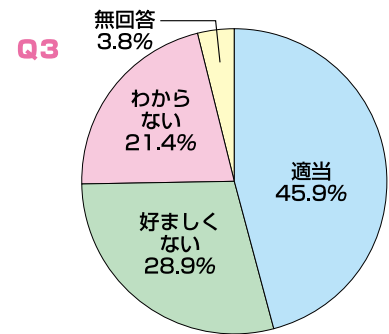
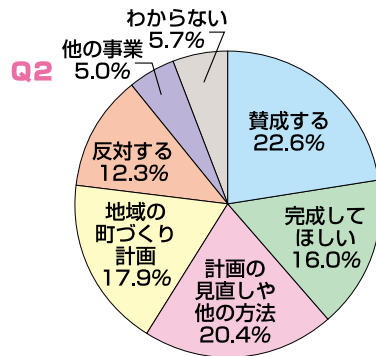
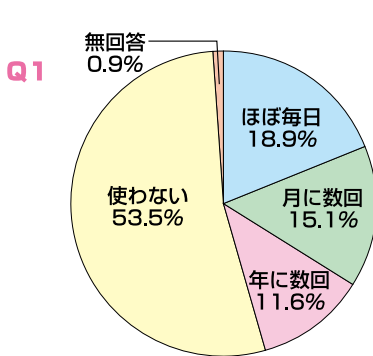
**Q1. 完成すればどれくらい使われますか。**

**Q2. この事業の現状の計画の進め方について。**

**Q3. 完成すれば通学路に指定したいとあるが通路よりホームへは自由通路の延長です。通学路の指定について。**

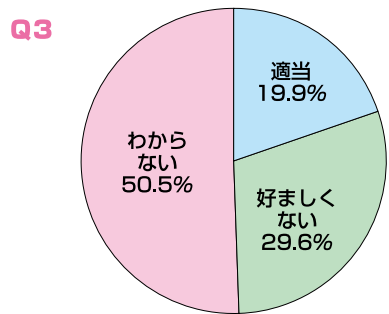
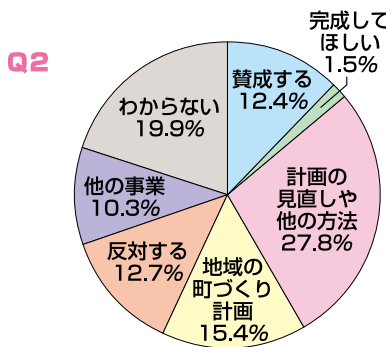
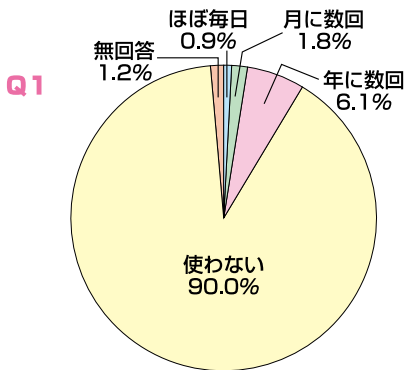
### ①北伊予校区の結果

北伊予校区で広報配布数の3割の730通を電話帳から無作為抽出で発送し、318通の回答



### ②松前・岡田校区の結果

松前・岡田校区で広報配布数の1割の858通を電話帳から無作為抽出で発送し、331通の回答



### 北伊予校区の自由意見 (抜粋)

- ・住民の永年の悲願達成に格別のご配慮を。早期実現に向けて尽力願いたい。
- ・多額の費用がかかるなら、他の方法を考えてもらいたい。
- ・多額の資金を投資する必要性を問う。
- ・J Rの負担はないのか。一部負担をすべきと考える。
- ・一日も早く完成すべきだ。
- ・階段が多く高齢者が利用しにくいので検討を。
- ・住民の安全な生活を考えると必要である。

### 松前・岡田校区の自由意見 (抜粋)

- ・北伊予校区外に住んでいるので事情が分からない。北伊予駅利用の人に聞くべき。
- ・松前町や地元住民がどれだけの受益があるのか。絶対必要ならば費用はJR四国と松山市に。
- ・地域のためにも早期完成して通勤、通学の利便、安全を図るように。
- ・陸橋は、子どもの安全には大事だが老人には厳しい。将来的には決して地域活性化にならない。

※ アンケートにご協力ありがとうございました。